

刊夕六二廿月五

常警日新報

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 印刷所 常警日新報印刷株式會社
 發行所 常警日新報印刷株式會社
 電話 六二〇〇
 印刷所 常警日新報印刷株式會社

愛國機と模型飛行機

福師志賀一美

(一)

日本空軍の現状と愛國機我が國空軍の現状は如何。これを知らるために列強の空軍と比較して見よう。

飛行機隊數	飛行機臺數
英 八〇	一四〇〇
米 一五四	二三〇〇
佛 一〇三	四〇〇〇
伊 一二一	一八〇〇
露 四三	一六〇〇
日 四三	一〇〇〇
	陸六〇〇
	海四〇〇

右の表で分かるやうに我が國は列強の中で數に於て一番負弱である。しからば實に於ては如何、これも残念ながら末席である。近頃多くの人の口による九一式九二式戦闘機等は世界にはこり得るが、その數極めて少く、他は残念ながら列強に劣つて居る。そのためか飛行機事故が世界一と云はれて居ります。(旅客機の安全率は百%ですが)時局を鑑みるに飛行機は益々重要で、東洋平和の適であらうところの、米露に於て我が國の約三倍の飛行機を有し、そのうへ建造能力が大である

(特にロシアはあの廣大なる土地のどこかに大格納庫を作つて何百臺と云ふ飛行機をかくしてあるかも知れない)しかるに我が國は建造能力が大きい。それでいざといふ場合にそなへるためには平常から準備して置かねばなりません。昨年来國民がそこへ氣付いて、愛國心の結晶とも云ふべき、愛國機の献納は七十九臺の多きにのぼつて居ります。航空日本にとつて誠に力強いこととあります。愛國機福島號と

教育者の自覺 これ等愛國機の大部分はかの滿洲の野に陸軍と協力して威勳を輝かして居ります。この中に我が福島號のあることを忘れてはなりません。この間も久保木中尉殿が熱河戦に於ける、我が愛國機福島號の燦然たる武勳のお便りが、朝日や日々に見えて居りました。福島縣の皆さん、予は福島號の唯一臺しかないことを甚だ遺憾に思つて居ります。本縣では、愛國機二機を献納する豫定だつたのが残念ながら一臺しか献納することが出来なかつた、この原因はどこにあるだらうか。

これ未だ航空思想が普及せざるための防空觀念の薄弱によるのである。本縣に於ける航空思想の普及の困難なるは、航空機に接する機會の過少なること、教育者が空に對する關心の浅いのによる。しからばこれが對策はなきか、東京附近や、大阪廣島東部では仙臺などでは、常に實物飛行機に接して居るから、自然航空機に對して關心を持ち航空思想の普及模型飛行機はどんな山村でも又家ごみの町でも、ちよつとした廣場、例へば學校の庭、公園の廣場或は畑にて試みられ誰もが興味を以て接するから、第一の原因に對しては模型飛行機を以つてするのが最もよい。第二の原因に對しては吾々教育者は大いに反省しなければならぬ。予は毎回の辯論大會に教育者たらんとが達せられるが、地方に於てはほんとうに希にしか見られないから、唯航空思想の普及と叫んでも効果はとぼしい、そこに航空機と人心との間を誘導するものがあれば實に都合がよい、こそ即ち模型飛行機の役目である。

町會議員候補者 川崎文治君



住所 平町字長橋町三五
 生年 明治廿八年十一月廿五日
 學歴 平町高等小學校高等科卒業 中央商業學校卒業 中央大學經濟科中途 國語傳習所修了
 職業 常警日新報社社長 常警毎日印刷株式會社社長
 賞罰 ナシ

推薦狀

拜啓 時下新緑の候貴益々御清榮の段奉慶賀候。陳者今回町會議員候補者として川崎文治君を最適任者と認め必勝を期して擁立致し候に就いては何卒同君が最大多數の冠榮を擔つて當選相叶候様絶大の御援助賜り度く此段伏して奉懇願候 敬具
 昭和八年五月

平町第一區(長橋) 有權者有志
 川角兼吉外一同

御挨拶

是非なく押されて出馬致しましたが願ひますれば淺學非才甚だ其の器に足らざるを遺憾とする點多く汗顏の至りに耐え兼ね。而し一度立候補を決意致しました以上、自分の所信を町政の上に披瀝して「住みよい平町、明るい郷土」たらしめ度い願望が胸中に満ち溢れて居ります。どうぞ私を勝たせて下さい。私は郷土平町の爲めに根限り働く覺悟と決心を持つて居ります。私は貴下の町政に對する御意見を取次ぐ忠實な公僕である考ひを忘れませぬ。必ず御期待に添ふ熱意を有して居ります。財政難の平町が今後爲すべき多くの都市計劃を持つて居る事を懐ふ時、老軀を提げて晝夜の別なく健闘して居られる青沼町長の誠意誠心に感激し、自分の不敏をも顧みず立候補を決心しました。どうぞ私が町會に一箇の議席を占めて働く事の出来る様絶大なる御援助を衷心より御願ひ致して止みませぬ。先づは立候補の御挨拶を申し上げ、貴下の御聲援を切望致します。
 昭和八年五月

五月節句の御祝品も安く良いので!!!

御座敷帳揃 形人形
 武者人形
 金太郎人形
 外のぼり
 布 鯉

平町四丁目 スガノヤ提灯店
 電話九五

是非御利用を

營業時間午後九時迄

平町四丁目河岸通
 三井質店
 電話六〇六番

中村齒科醫院
 平町鍛冶町七

電話特別開通申請の受付

一、受付月日 五月廿二日ヨリ六月五日迄
 一、設備費 金貳百四拾圓
 一、加入登料 金拾圓
 (但シ加入申込登記ヲス有ルモノハ不要)

一、申請用紙 當局ニ備付アリ
 其他詳細ハ當局窓口又ハ電話七〇〇番ニ照會アリタシ

平郵便局

吉田眼科病院
 平紺屋町、電話六八番

餘す處あと一週間

町議戦いよく盛

當選見込みは最少八十票

平町選議も餘すところいよ／＼一週間の後に迫り文書戦から暗中飛躍進行運動の第三期戦に入った立候補正式届け出では二十二日現在三十七名となり既に定員七名の超過となり前回より以上の混戦を展開するものと豫想される、特に今回は新顔が約半数も出馬してゐるため目下の處全く當落の豫想はつかず各候補共情報を探り得る算盤はじきに頭を悩ましてゐるが、今回の有権者数は名簿作成現在で前回より四百票増の四千三百四十七票で死亡轉居其

縣議の補缺戦

二ヶ月以内には

赤坂氏の逝去により

疾くも話頭の人々

別項所報の如く赤坂氏の逝去に依り早晩同氏の補欠選挙を行はねばならぬが補欠とは言ひアト二ヶ月の残期を有する縣議選であり非常時局に處することゝて政民兩派とも慎重に其對策を考究すべきときで既に夫れ／＼話頭に上つてゐる、今その顔觸れを窺ふと先づ政

勢力全く互格

昨日濱三郡柔道大會

既報第二回濱三郡中等學校柔道大會は昨日午後一時より相馬中學校講堂に於て笠原、橋本、青木、各五段及び牛來、佐藤、鈴木、各四段審判の下に行れたが成績は左の如くいづれも勢力伯仲し勝負つかず、中、相中、双中が各十點宛平商は五點であつた

雙中	5	1	平商
雙中	3	3	相中
雙中	2	3	雙中
雙中	5	2	平商
雙中	2	2	雙中
雙中	5	1	平商

優良産婆表彰

けふ須賀川で

今廿二日午前十時より須賀川町第二小學校に於て開會された縣産婆會總會に於いて優良會員として郡下より表彰された者は左記十名である

- (平) 福場さだ 松本きん

夏井川護岸

防砂工事促進

石城郡川前村では過般縣當局に陳情せる夏井川沿岸の砂防工事促進に就いて来る廿五日午前九時より平町團体事務所樓上に同川沿岸町村たる小川、赤井、平、神谷等の各町村長を招待して協議會を催す事になつた

平町人事

回死

△播磨小路二十 當時東京市杉並區馬橋四丁目丹吳俊惠(一〇)

平職業紹介所報告

- △回人を求める方
- △女中 二十以下 尋卒
- △給料面談(平町某)
- △自動車助手 十八迄 尋卒
- △仕着小遣(平町某)
- △紙箱工見習 十六迄 尋卒
- △仕着小遣(平町某)
- △自動車運轉手 二十前後 尋卒
- △給料面談(小名濱町某)

縣外視察

郡産業組合

既報産業組合石城郡部會では縣外優良組合視察團員の人選中であつたが今回左記八名と決定したので今廿二日午後六時三十六分平驛發列車にて出發六日間の豫定で長野全縣下及び東京附近を視察して廿七日歸郷の豫定である

健康兒豫選

忠太郎君入選す

平第一小學校にては既報の

- △江名四家主 事草野渡邊
- △理事 平窪鈴事理事 赤井
- △書記 渡邊永山書
- △給料面談(平町某)
- △機械工 十六才 商業一
- △給料面談(内郷村某)
- △教師 二十八才 高
- △給料面談(平町某)

吉田金作氏

來る三十日執行せらるべき町會議員選舉に際し磐陽野球界の恩人吉田金作氏には舊城跡、八幡小路兩區民の熱誠なる推薦により遂鹿戰場に出馬決意致され候

磐陽野球後援會有志

- 阿部政右衛門
- 新田目春
- 柴田徳
- 石川友次
- 井坂久
- 熊謙次
- 高木忠三
- 外幹事 一
- 責任者 福島縣平町長橋町七 高木忠三郎

關内正一君を推薦す

- 推薦者 平町二丁目
- 鈴木堅助
- 田卷酒之助
- 三井文吉
- 石川友次郎
- 丹野榮三郎
- 關内慶次郎
- 坂田藤助
- 長瀬延太郎
- 里見金太郎
- 責任者 平町二丁目十三番地 丹野榮三郎

出刃を振つて

好間村の強盗

妻は瀕死の重傷を負ふ

犯人七十の老賊

石城郡好間村大字好間字川原子居住植木職木田孝平方へ今曉零時半頃竹俵に刃渡八寸餘の出刃鉋丁を付け覆面せる怪漢忍入り奥の間に金品を物色中孝平の妻キヨ(三)が發見泥棒々と連呼したので賊は狼狽せる結果所持せる出刃を以つてキヨの左肩を突抜いた爲め昏倒瀕死の重傷を負つた騒に孝平が飛出して賊と大格闘を初めたが是の物音を聞いて

隣家の元消防小頭福井某が附近の火の見櫓の鐘を亂打して急を上げ駆付けた二十餘名の消防手と協力逃走せんとする怪賊を大格闘の上取押へ駐在所員に引渡し平署に押送取調ると犯人は内郷村大字宮字町田一六居住孝太郎實父島新松(六)と云ふ老賊と判明したが犯人も格闘の際頭部其他に輕傷を受けたので署員が手當を加へて詳細を取調中である

郡南地方の春蠶

昨年より一割増豫想

石城郡南地方本年度春蠶の掃立は大体十八日頃に終るので同地方繭を一手に引受る植田繭市場は六月十八日頃より出廻つて廿八日頃迄に大体打切られる模様であるが同市場の取引豫想は約八千貫と見られ昨年度より二割の増加と見越して居るのは蠶の掃立期頃より天候及び桑の發育が例年になく順調にあつた爲めであると

泉000000055
一二三四五六七
平172004216

スワ火事?

實は塵埃焼き

平第一對泉 校の野球戦

既報平第一小
昨廿一日午後九時頃城山聚樂園より電話で平署に一丁

赤坂縣議逝去

葬儀は廿五日執行

石城郡選出縣會議員赤坂毅一氏は病氣の爲め上遠野村字上遠野の自宅で療養中十七日頃より病勢昂進遂に二十一日午後二時二十五分父龜次郎翁を始めみね子夫人長男忠夫氏外親戚知己に看護られて忽焉として逝去した享年五十六、訃報に接し金成貴族院議員、鈴木代議士、古川傳一、其他地方知名の士百數十名の見舞で同家は非常な混雑を呈した同氏は一昨年縣會議員に當選した當時より胃病を患ひ東京南大曹博士及び故大養毅氏侍醫武居博士の診療を受け小康を得、昨秋縣會には病軀を押して出席し遂に長逝したが氏は慶應高等科を卒業後郷里に歸り若松聯隊に入隊伍長勤務上等兵

明日の天気
廿三日
今晩は北西の風晴曇半し明日は北西の風天気

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ 指揮菅原明朗
- 後七、三〇 産業ニュース
- 後八、〇〇 落語

- 後八、三〇 新内「傾城三度笠」淨瑠璃富士松喜勢 大夫 三味線薩摩屋 上調子遊喜之助外
- 後九、〇〇 獨唱とピアノ 獨奏 時事新報社主催音楽コンクール入賞者

明日の部
後九、三〇 時報
氣象通報 番組豫告

- 前六、三〇 基礎ドイツ語 講座(一八)橋本忠夫
- 前九、一〇 料理献立「鶴の子揚げ」河内捨松發表
- 前一〇、三〇 家庭講座頭「髪の手衛生」醫學博士田村一
- 後〇、〇五 琵琶講談
- 後二、〇〇 家庭大學講座

郡教育總會
水野氏の講演
既報石城教育會では来る二十八日午前八時より平第一小學校に於て總集會を開き講演會を催すが講師は文

海軍記念日に 一萬米競走

警中の行事

既報警城中學校にては來木二十七日の海軍記念日に際し平窪村御殿山往復一萬米のマラソンを舉行するが各係教諭は左の如くである(總務)齊藤教頭(整列及び出發)芝崎 廣田 橋本 名尾 大橋 土淵 庄司(途中審判)菅野 中島 谷澤 樋口 中柴 新谷 沖原 野口 河村 石田(決勝審判及記録)下山田 梶原 今 廣田 渡邊 近藤 橋本 名尾 芝崎 庄司 下平 大橋 高清水(賞品)梶原 根本 館野(監督及衛生)山崎 梅森 大井川(引返所)山名 廣本 豊口 大村 柴田 根本(自轉車)鈴木

偽電詐欺

けふ得藏の公判

双葉郡浪江町大字權現堂字上續町十四番地前科一犯西牧得藏(三)が昨年十月田村郡御木澤村橋本文治方に至り二百圓の偽電報爲替を示し五十圓を騙取した外双葉

斷崖から轉落 客を乗せた自動車

石城郡上遠野村字西町後藤義弘方自動車運轉手志賀順平(三)は去る十九日午後三時頃植田町本町醫師前田清美氏(七)を貸切に乗せて同地字大平地内御齊所峠を進行中運轉を誤つて高さ卅尺の箇所より墜落前田醫師は前額部に全治三週間の裂傷を負つた

十九娘家出

平署に捜査願

新瀉縣中蒲原郡福吉村大澤農柴田恒吉次女トシ(九)は去る十九日親が選んだ結婚を嫌つて親の金三十圓餘を提出し行衛を晦したが内郷村の知人を頼つたらしいと

井坂醫院
科人婦・科外
町田 町平
番九五五話電

飯野自力更生
信用組合設立
既報石城郡飯野村では自力更生縣指定村としての確立を計る爲め去る廿日午前十時より同村小學校に農産實行組合長區長更生委員其他八十餘名が參集協議の結果更生第一歩として信用組合の設立を満場一致で可決した

新三郎

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第三百四十四號

上田馬之助

新三郎漸く改心す

上田馬之助は緒方新三郎を連れて向島木母寺を出で本所中ノ郷の細川能登守侯の邸に來た、此構への中に自分の住居がある、大名の門は暮れ六ツに閉めて明け六ツに開くことになつてゐるが、それは公然、其の通用門は夜更けても通行の出來る様にしてある、之に就て滑稽な話がある、江戸には三十六ヶ所の見附がある、非常の節は閉め切る處で、此見附は三尺以上の長い物を通すことを禁じてあります、新宿または高井戸邊より百姓が馬を牽いて江戸の街へ野菜を賣りに來ます、其の時に干物に用ゐる竹竿を付けて來る事がある、これも注文されて持つて來る、馬の背に付けて四ツ谷見附の前まで來ると冠つて居た手拭を此の竿の先へフワリと掛けて見附へ入る、しかし斷つて通らぬと叱られる

○「お願い申します」

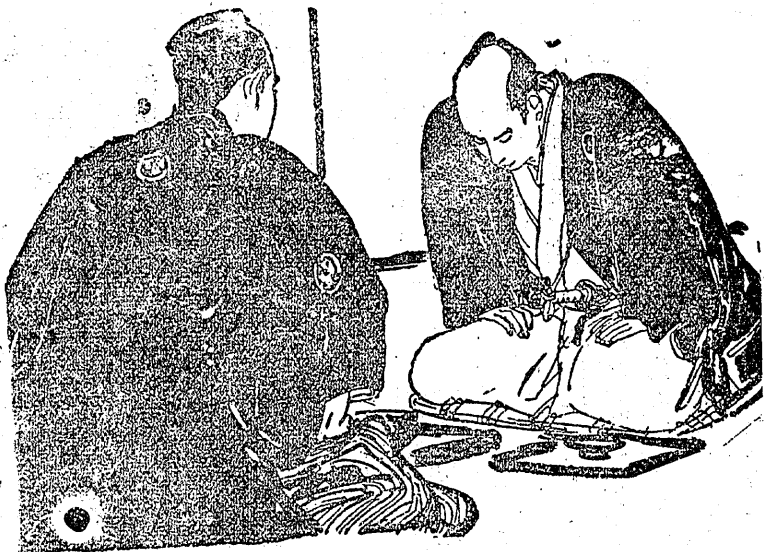
役人「オ、何だ」

○「風呂敷包を馬へ付けましたまゝ通りますでお願ひ申します」

役「オ、通れ」

とこう役人が申します、

長い風呂敷包があるもの干物竿とて三間以上ある、昔の役人はこうゆうづうがきいて居りました、害にならぬ上は赦して置いた、それですから諸大名の邸の門と



て掟ばかりは守つて居ない、扱て上田は新三郎を連れて通用門を通り自分の住居へ連れて來た

馬「コレ、珍客が参つたぞ」

と云はれて門人が

○「コレはお珍らしい緒方様でございますか」

新「久しぶりで會つたな」

○「何ぞ此方へお通り下さいますし」

客間に案内して茶煙草盆を持つて參る

馬「更けて氣の毒であるが酒の支度をしてくれイヤ肴は有合ひの物で宜しい」

弟子が酒を運んで來る

○「大層遅くお歸りになり

ましたな」

馬「今日は新三郎どのと共に向島へ花見に參つて秋葉の武藏野で一口やつてゐる中に日が暮れた、五ッ過ぎに武藏屋を出て堤にかゝる

と賊に出會つた

りましたが、シテ何人ばかり賊は出ました」

馬「七八人出た様だよ、いづれも顔を包んで草双紙にある泥棒の様な扮装をいたし居つた」

○「左様でございますか、先生は其奴らを斬りましたか」

馬「三、四人怪我をした様だ」

○「へ新三郎様は何人程斬りました」

と尋ねられて新三郎はニヤ／＼笑つて居る其時上田

馬「イヤ新三郎殿は至つて慈悲深い性質とて賊に傷を負はせる様な事はいたさんよ、賊の手に身を委ねて裸体になつて助けてくれと叫び聲を揚げて居つた」

○「左様でございますかイヤ恐れ入りました」

などと笑ひ乍ら其の座を立つて行く、後で上田は新三郎に酒をすゝめ

馬「新三郎殿貴公は先殿様のお胤である、細川家は諸侯の中に尤も家柄も宜敷く將軍家よりも特別の待遇を受けて居る當家は、熊本の分家ではあるが、その血統に變りはない、かゝる正しき血筋を引き居る貴公が遊女の爲に心を亂し、下々の者すら爲すを恥づる所行をいたし、且つは賊に出逢うてこれを斬り捨てる事もならず、彼等の爲に弄ばれ恥辱を受けるとは武士にあるまじき事、それともまだ吉原に居つて藝人共を相手に馬鹿を盡されるかよく考

へて見なさい、貴公は劍法の性質も宜しく、又學問もある、左様いふ人物を放蕩者になして世のすたり者にするは誠に残念、それ故御意見もいたす拙者の申す事が判つたかな」

と云はれて新三郎はホロ／＼と涙を流し

新「イヤ今に至つて先非を悔い以來は武士らしき修養をいたす、モウ白粉の香は嗅ぎあきた、また藝人共の野卑なること其の浮薄なる事にも愛想が盡き果てた、何うぞ只今迄の非行はお許しく下さい」

御用命は印刷物の總代理
常警日印刷株式會社
電話三六〇番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性

淋病 腸胃病 十二指

松村 院 醫學科 院

平南町 電話一七〇

五月武者人形

特價大賣出し!

毎度格別ナル御同情ニ預リ難有御禮申上マス例年ノ通り御座敷職及布鯉御道具類等一式豊富ニ取揃陳列致シマシタ御得意本位主義ニテ特價ニ差上マス。御一覺ノ程御待テ致シマス。

平町三丁目日本通り
落花生問屋
叶星號 加藤提灯店

小兒科。 内科

特ニ乳幼兒ノ康健相談ニ應ズ。

平町 ねすみ坂
渡邊醫院
電話一六一番

五月人形陳列會

◎非常時日本の心意氣
尙武人形

◎品と値で常に祝品界をリードするフクダヤの名作品を御覽下さ

- 御座敷飾セット 六圓ヨリ百五十圓迄
- 武者人形 一圓ヨリ三十圓迄
- 金太郎人形 五十錢ヨリ十八圓迄
- 五巾外のぼり 十圓ヨリ四十五圓迄
- 大鯉のぼり 二圓ヨリ四十八圓迄

二丁目の フクダヤ

内科小兒科花柳病科

藤沼醫院

入院需應

平町紺屋町
電話五〇七番